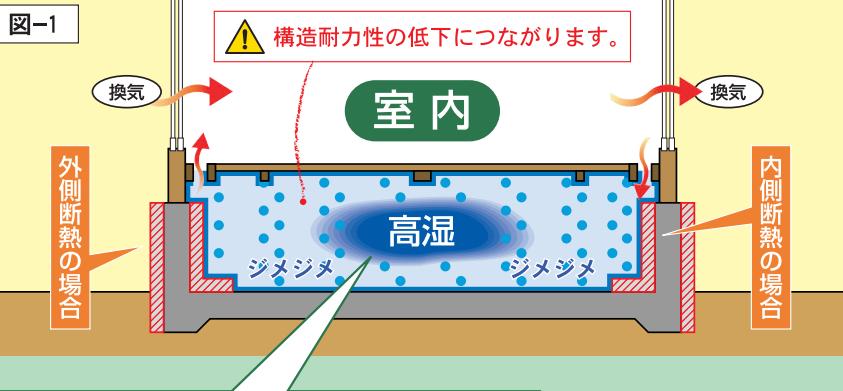
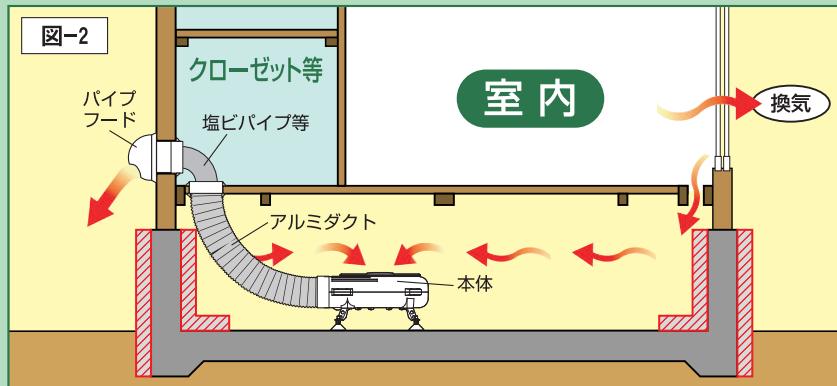


基礎断熱工法の床下部湿気もブロワー換気で解消させます



基礎断熱工法における
カビの発生写真※築10年



新しい工法として実績を伸ばしている「基礎断熱工法」。床下部も室内と見なし設計上は換気についても十分に考慮されています。

しかしながら、現場の立地条件や生活スタイル等種々の条件によっては換気が追いつかずカビや湿気の発生がみられることが散見されます。
(【図-1】及び写真参照)



現状では新築時の余剰の水分を含んだ
コンクリートや室内と床下の通風不足
や床下空気のよどみなどで床下に問題が
発生しています。

これまで基礎断熱工法や外断熱工法における床下の湿気対策は攪拌型送風機のみの設置により対処されてきましたが、近年、床下で攪拌された空気を（加圧作用による）室内に流入させたくないというユーザー様からの要望を反映させ、新たにブロワー型換気システムによって対応する方法も採用されています。
(【図-2】参照)

新築リフォームとともに新制度によって床板・土台・基礎などは構造耐力上重要な部分と指定されています。クレーム・トラブルの発生を抑えるためにも床下換気システムを有効にご活用ください。

有効換気面積：25坪/ブロワー1台
25坪=81m²×0.5m(床下高さ)=40.5m³
ブロワー換気量200m³/h時で約5回換気/時間×5時間運転=25回換気/日
※換気設定は基礎断熱や防湿処理を考慮した場合

